

## コロナ禍の1年を振り返って

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、自粛生活を余儀なくされ、地域の皆さまには健康面や精神面で大変なストレスを感じておられることと拝察申し上げます。

海岸社協の活動も、公共施設の使用禁止や利用者数の制限等の制約を受け、一大イベントである「ふれあいの集い」を始め、うみかぜテラスで行っているサロン活動は全て中止となりました。

このような状況下において、海岸社協が主管しているボランティアセンター海岸やサロン活動等については、個々にご報告させていただきます。

海岸社協は「地域に暮らすすべての人が安心して暮らせるために福祉増進活動を図る」を目的に、社会福祉関係者、民生委員・児童委員及び各種団体や自治会の協力を得て、引きこもりがちな高齢者や、障がいをお持ちの方、子育てでお悩みの方、近隣とのお付き合いが疎遠な方たちに、交流の場を提供したり、見守りをする任意団体です。

## 今年度もカステラをお配りできました

海岸地区社会福祉協議会（地区社協）では、毎年秋に開かれる「ふれあいの集い」のバザーの収益金によって、年末に 80 歳以上の独居の方々に慰問品（カステラ）をお届けしています。今年はコロナ禍で「ふれあいの集い」の開催が中止になりましたが、地区社協の皆さまのご尽力により、今年もカステラを用意していただき、民生委員がそれぞれの担当地域の方々にお配りしました。

民生委員活動もコロナ禍で高齢者の方々に直接お会いすることを遠慮しなくてはならない状況になっていましたが、年末のカステラ配布は楽しみにしていらっしゃる方が多いということで、ぜひカステラをお渡ししたいと相談しました。

海岸地区社会福祉協議会 会長 鈴鹿 隆司

しかし、今回のコロナ禍においては、サロン活動の場所提供や、ご家庭への訪問、研修会・情報交換等の会議開催もままならず、また、海岸社協の構成メンバー自身がほとんど高齢者のため自粛生活をしいられ、ボランティア活動も人の確保に苦勞し、福祉活動の難しさ、歯がゆさを痛感させられました。

今後は、ボランティア活動のサポーターを始め、社協の構成員も若い世代に参加いただくことが急務だと感じました。

学生さんから 60 歳代の方で、地域に対する奉仕活動に興味があり、月のうち少々の日時なら協力できるという方は、是非、参加いただきたく宜しくお願いいたします。

コロナ禍が一日も早く収束して、地域の皆さまと談笑できる日を心待ちにしております。



民生委員・児童委員 真野 悦子

それぞれの委員が工夫をしてお届けするようになりました。例えば電話でお話してから玄関先に置くとか、時間を決めてお届けして、直接の会話をなるべく減らすようにした委員もいました。

カステラを受け取られた高齢者からは「ありがとう」「楽しみにしていたよ」「今度はゆっくりおしゃべりしましょうよ」「良かった、今年はカステラを配らないかと思ったよ」などなどたくさんの言葉とともに笑顔をいただきました。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が収まり、気軽に訪問やお話ができる日が来ますように願っています。

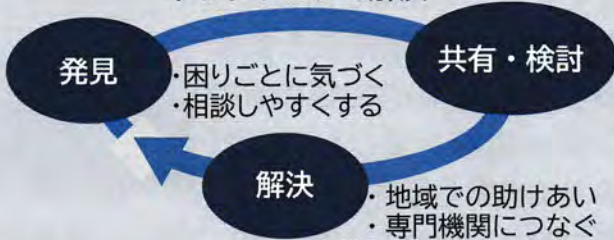


## ■ 地区社協はこんな組織です

すべての人が、住みなれた地域で  
安心して暮らすことのできるまちづくり

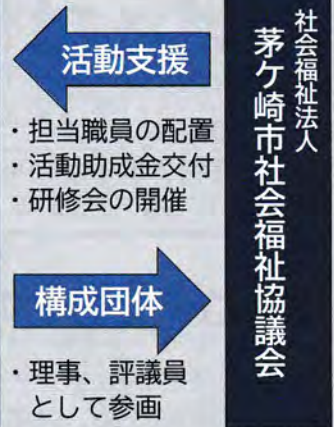
- ・地域の人の福祉増進を図ることを目的に、福祉関係者、団体及び自治会の参加協力を得て組織された任意団体です。
- ・海岸地区社協は 1984 年(昭和 54 年)に発足し、市及び市社協と連携して活動しています。

一人ひとりの生活の困りごとを  
ネットワークで解決



地区社協の主な構成員	
自治会	福祉事 者 ボランティア
民生委員 児童委員	包括支援 センター
青少年育成 推進協議会	障がい者 活動支援施設
青少年指導員	老人クラブ
主任児童委員	コミュニテ ィ センター
保護司	体育振興会

海岸地区社会福祉協議会



社会福祉法人  
茅ヶ崎市社会福祉協議会

- 海岸地区社協の活動 — こんなことを行っています —
- ◇ ボランティアセンター海岸
  - ◇ 健康体操教室
  - ◇ 研修会・施設見学会
  - ◇ ふれあいの集い
  - ◇ 子育てサロン「いちご」
  - ◇ 広報紙「海岸」の発行

## サロン等の活動の様子 コロナ禍の収束を待ち望んで

### 健康体操教室 大野 たつ子

海岸地区社協では「気功」を取り入れた健康体操教室を毎月第3水曜日 10時～12時に「うみかぜテラス」の多目的室Aで開催しています。

ゆっくりとした「気功」の動作が「筋力アップ」「免疫力アップ」にとっても良いと、講師の伊藤真琴先生から伺っています。参加者の皆さんからも好評をいただき、常時 20～30 名の参加があります。



しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言があり、残念ながら8月までは休止せざるを得ず、開催できたのは9月～12月の4回だけでした。9月からの再開にあたって、いつも参加してくださっている方々に、時間を1時間程度に短縮して行うなどをスタッフから連絡しました。電話でお話をしていると、皆さんが開催をとっても楽しみにしている様子が伺えました。

ウイルス感染防止に気をつかいながらの再開でしたが、常に 20 名以上の参加がありました。いつもは休憩時間や終わった後の参加者同志のおしゃべりも楽しみの一つですが、それもできず少し残念でした。

伊藤先生がコロナ禍で家に居ても、簡単にできる体操を図解付きで作成してくださり、皆さんにお配りしました。

「体操に行って免疫力アップ」と「家にじっとして感染拡大防止」の狭間で難しい開催の決断でした。

早くサロンが再開され、皆さまと楽しい時間を過ごしたいとスタッフ一同願っています。

### サロン「ふれあい」 大貫 真知子

今年度のサロン「ふれあい」は、緊急事態宣言が出されていたため、7月からのスタートとなりました。

これまで毎週火曜日に開催していましたが、火・木曜日の2回とし、参加人数を半分ずつにと試みましたが、やはり皆さんが慣れ親しんだ火曜日に集中してしまい、1ヶ月ほどで元の火曜日だけに戻しました。

換気に気をつけ、消毒とマスク着用、大きな声でのおしゃべりは控え、感染拡大に注意しました。静かに季節にちなんだ折紙などを行い、すいか・カブトムシ・金魚・ペンギン・とんぼ・カエル・朝顔など、いろいろと作りました。10月はハローウィン飾り、11月はクリスマスリースを段ボールとフェルトで作り、12月は針も糸も使わずに作る「熊のぬいぐるみ」を作りました。皆さん『孫にあげる』『家に飾る』と大喜びでした。



1月に再び緊急事態宣言が出されたために、今年度最後の行事になってしまいましたが、12月22日にクリスマス会を行い楽しく過ごしましたが、サンドイッチを用意しましたが、感染予防に配慮して、家へ持ち帰っていただきました。

早くサロンが再開され、皆さまと楽しい時間を過ごしたいとスタッフ一同願っています。

## 子育てサロン「いちご」

鈴木 智恵子

子育てサロン「いちご」は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発出されたため、昨年2月から活動場所の「うみかぜテラス」のフリースペースが使用禁止となり、現在も活動していません。9月から一部使用可となると聞き、他のサロンの状況を市社協を通じて確認していただきましたが、ほとんどの子育てサロンが休止でした。乳幼児は何でも口に入れてしまい感染の危険が伴うので、遊具の消毒や部屋の換気など、とても難しい問題があります。

今後、活動再開がいつになるか分かりませんが、他のサロンと情報交換したり、スタッフと相談して、子育てのお母さんたちのお手伝いをしていきたいと思っています。



## 福祉サロン「海岸」

鈴木 明美

福祉サロン「海岸」は、毎月第2第3金曜日に「うみかぜテラス」の調理室で開催しています。

2020年は、1月10日、17日、2月14日の3回まで開催しましたが、コロナ禍が騒がれ始めてその後は休止せざるを得ませんでした。

2月22日(土)に開催予定だった「うみかぜテラス」開館一周年記念の催しも中止となってしまいました。

以来、サロンは開いていませんが、コロナ禍の中でサロンとして何が出来るかとスタッフで話し合う機会を何度か持ちました。

サロンを利用されている皆さんに電話で状況を説明するとともに、体調を伺ったり、4・5月頃には「うみかぜテラス」で配布した消毒液を届けたりしました。

今まで、皆さんが集まっておしゃべりをしたり、当たり前になってきた事が、サロンを利用されている皆さんだけでなくスタッフにとっても「ありがたい場」であったと再確認しております。

コロナの一日も早い終息を日々祈っております。

## サロン「和 (なごみ)」

萩原 史江

独居の高齢者が増えている東海岸南地区で、ご近所の交流の場としてみんなのサロン「和」を開設して10年目となります。住み慣れた地域で自分の足で気軽に通えるサロンを目指しています。月2回ボランティアスタッフを含めて20数名が集まり、年間の企画に沿って歌やおしゃべり、季節の行事などを楽しんでいます。

しかし、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で4月から6月までやむを得ず中止としました。満を持して7月からサロンを再開しましたが、感染予防対策として参加者をグループ分けして1回の人数を10名前後としました。また、体温測定、フェイスシールド、マスク、手洗い、換気を徹底し、サロンの内容は歌を止め、おしゃべりを控えめにエコバックなどの作品作りを主としました。それでもお互いに顔を合わせることの喜びを皆さん感じていました。その後、第3波の感染拡大の危機が到来し、12月から2月まで再び中止としました。休会中は「お便り」を発行して健康に関する情報などを会員の皆さんに届けています。

コロナ禍の巣籠り生活で多くの人がストレスを抱えています。特に独居の高齢者にとっては心身の低下につながっていると思われます。緊急事態宣言解除後の3月からサロンの再開を予定しています。

国内でのワクチン接種が始まりましたが、一日も早い新型コロナウイルス収束が期待されます。以前のように安心して歌を歌い、おしゃべりが出来るサロンの再開をみんなで待ち望んでいるところです。



## 子育てサロン「ほっとカフェ」

岩澤 洋子

子育てサロン「ほっとカフェ」は、新型コロナウイルス感染への対策として次のようなことに気をつけながら、昨年3月までは開催しておりました。

1. 施設内の掃除、消毒
2. スタッフと参加者の健康管理
3. 遊具などの徹底した消毒
4. こまめに換気、室温調整

しかし、4月7日に緊急事態宣言が発出されたことにより、4月からは開催を中止にしました。

9月から再開予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して残念ながら今年度は開催を中止としました。

■問合せ先 ・健康体操教室 85-2872 (安部)  
・「いちご」 86-6066 (鈴木)  
・サロン「和」 85-1655 (萩原)

・サロン「ふれあい」 85-5655 (ボラセン)  
・福祉サロン「海岸」 82-1132 (笹川)  
・「ほっとカフェ」 87-4466 (学童保育の会)

# ボランティアセンター海岸

コーディネーター 山本 俊夫

2012年にサポーターデビューしてから早いもので8年あまり経ち、この間、主に草むしりをやってきました。当初は要領が悪かったのですが今はそれなりに上手くなったと自負しています。コロナ自粛の世の中ですが草むしりは3密にならないので今年度も例年通り依頼を受け付けました。しかし7月はほとんど雨、8月に入ったら急に酷暑で作業も中々はかどらず依頼をこなすのが結構大変でした。やはり年々厳しい気候になっていると肌で感じます。雑草が一番伸びるのがこの時期ですのでほんととやっかいです。それでも依頼主の方から「きれいになりました。ありがとうございます。」と喜んでいただけるとまたやる気になります。

退職後に軽い気持ちでボランティアに応募して、こんなふうに地域に関りが持てるとは思っていませんでした。これからも身体が動く間は続けていきたいと思っています。

コーディネーター 山本 幸子

ボランティアセンター海岸も早いもので平成23年(2011年)11月に開設して今年で10年になります。現在、コーディネーター(サポーター兼務)12名で運営しています。

今年はコロナ禍の中でも、事務所の窓、ドアは全開にし、加湿器も入れ、机・椅子・ドアノブ等すべてアルコール消毒をして、毎週水・金の午前中に、電話受付を3名で頑張りました。当番のコーディネーターは大変だったと思います。

今年度は、依頼のすべてにお応えする事は出来ませんでした。病院への同行、家の中の片付け等は、サポーターの皆さんの安全を考慮して、やむを得ずお断りいたしました。屋外での草取り、庭木の枝切り、買い物等はお手伝いできました。サポーターの皆さまには感謝いたします。



## ボランティア募集中



### あなたのちからと時間を地域のために！

地域で困っている方のために、ほんの少しのお時間、お手伝いいただけませんか。東海岸地区では草取りの依頼が多いのですが、草取りの担当サポーターは皆さんが70歳以上と高齢なため一人が月に数回しか活動が出来ません。

部屋の掃除、買い物、通院の付添い等をお手伝いくださる方も大歓迎です。

『1~2週間に一度、2時間程度ならサポーターとしてボランティア活動をしてもいいかな』と思われる方は、ぜひボランティアセンター海岸までご連絡ください。

ボランティアセンター海岸 開所日：水曜・金曜 10:00~12:00

電話：85-5655

住所：茅ヶ崎市東海岸南1-1-4 サンハイツ茅ヶ崎

### 編集後記

今年度の海岸社協は、新型コロナウイルス感染拡大の中、思うように活動することが出来ませんでした。「新しい生活様式」「自粛」により、健康体操教室や子育てサロン、サロンふれあい、福祉サロン海岸の活動が休止または縮小になり、一大イベントである「ふれあいの集い」も開催することが出来ませんでした。

休止や縮小になって始めて、人と人とのつながりや触れ合いの大切さ、当たり前になっていたことのありがたさに気付かされたときでもありました。

次号発行の頃には、ワクチン接種の効果が出て新型コロナウイルス感染が収束し、気軽におしゃべりが出来る日々になっていることを期待しています。



海岸地区社会福祉協議会の事業は、皆様の会費と赤い羽根の共同募金の配分金等でまかなわれています。